

兵庫県肝疾患専門医療機関

編集・発行 情報委員会
神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25
電話：(078) 612-5151
URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

愛と健康の

かけはし

2017年10月発行

No. 62



地域包括ケアシステムにおける 神戸朝日病院の役割

副院長 **キンスギ 金秀基**



●2017年も残り3か月足らずとなりました。昨春、かけはし56号で副院長就任のご挨拶をさせていただいてから1年半が経過しました。目に見える部分、見えない部分も含めて、少しずつではありますが、着実に前進して参りました。引き続き職員一丸となって、より一層患者様に寄り添い、地域のお役に立てる病院創りを進めていく所存です。

●今号では、地域包括ケア病棟について述べさせていただきます。

●これからますます加速していく高齢化社会を背景に、ただ“病気を治す”「従来型医療」から“病気を治し、生活を支える”「生活支援型医療」への転換が求められています。住まい・医療・介護・予防・生活支援の各部門が連携し合いながらサービスを提供するという地域包括ケアシステムが、各地域ごとに構想され、実現されつつあります。この地域包括ケアシステムにおける病院の機能として、治療、リハビリ、退院支援も含めた、患者様の入院生活と日常生活との橋渡しの役割を担っているのが、地域包括ケア病棟です。

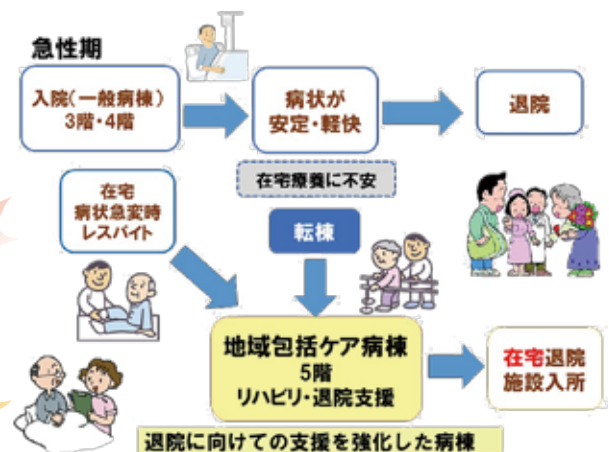
●当院においても、昨年7月から病棟機能を一部改変し、これまで急性期の医療を行っていた5階病棟を、地域包括ケア病棟としてスタートさせました。地域包括ケア病棟は、病院によってフレキシビリティの高い運用が行われていますが、当院における現在の主な入院対象患者様は、①急性期病棟（3階・4階病棟）で病状が改善した後、退院調整・在宅への復帰支援のための転床 ②在宅等にいる患者様の病状急変時の受け入れ ③レスパイト入院（障害者、高齢者の方々を在宅でみておられるご家族の介護・ケ

アの代行のための入院）となっております

●当院が地域包括ケア病棟を導入して1年余りですが、毎月の病床稼働率が90%を超え、在宅復帰率も平均で80%を超えており、地域のニーズに対して一定の役割を果たしているのではないかと考えております。入院されている患者様のご病状や抱えておられる状況は様々ですが、実際の病棟運営においても、それぞれ個々のご事情に合わせて、毎日の看護だけでなく、退院支援、リハビリ、服薬指導、栄養指導も含めて各職種が連携し、柔軟に対応させていただいております。また、希望される方にはリクリエーション時間も設けており、懐かしい歌をうたったり、体操したり、楽しく過ごされている様子が日常風景の一部となっております。

●以上、地域包括ケア病棟についてご紹介させていただきましたが、もちろん急性期病棟も今まで以上に充実した診療・看護を行うべく、日々誠心誠意取り組んでおります。急性期病棟（100床）・地域包括ケア病棟（34床）併せて、トータルで患者様に貢献できるように努めて参ります。

●今後ともよろしくごお願い申し上げます。



合同初期体験実習生が当院で実習を行いました

9月12日（火）神戸大学医学部医学科・保健学科及び神戸薬科大学薬学部との合同初期体験実習生を受入れました。毎年この時期に、神戸大学医学部、神戸薬科大学の関連病院で体験実習が行われ、今年当院では1年生7名（医学科2名、看護学科1名、検査技術科1名、作業療法学科1名、薬科大2名）が実習を行いました。

この実習は、入学後早い時期に保健医療の現場に学生が接することにより、「生命・医療倫理などを体験的に学ぶ」という教育の一環で行われるものです。

入学間もない学生の皆さん、飛び交う医療用語もよく理解できなかったと思いますが、病院についての説明や、病棟、各部署の見学、栄養サポートチーム（NST）ミーティングや回診（褥瘡・嚥下機能評価）に同行し、「チーム医療の実際」を体験していただきました。将来、医療人として活躍される日が楽しみです。



「夏休み病院見学会」を開催しました!

事務局長 谷口 美幸

8月19日（土）、当院において初めての試みで、職員の家族を対象とした『夏休み病院見学会』を開催しました。それは、週1度当院にいられている非常勤の先生から、夏休みの宿題“自由研究”でお父さんが働いている病院を見学したいと子供から頼まれたのだけど…というご相談から始まりました。以前から、職員の家族に、病院を紹介する企画を行いたいと考えていました。大きな病院では難しいことかもしれませんが、当院の規模だからこそ実現できるのでは、と思い、夏休みの1日、職員の家族（子供）の職場訪問を受け入れ、職場に対する理解を深めてもらう見学会を開催することにしました。

急な計画で、既に夏休みの予定が決まった後だったにもかかわらず、小学生2名、中学生2名の計4名が参加してくれました。



普段、お父さんやお母さんが働いている病院ってどんなところ?という疑問が解決できるよう、病院で働くさまざまな職種についての紹介や病院内見学、手洗い実習など、午前10時から午後4時まで6時間盛りだくさんにいろいろな体験をして頂きました。やはり、お父さんやお母さんの職場には興味津々で、どの部門に行っても、みんな目がキラキラ、熱心に話を聞いてメモを取り、時には鋭い質問も飛んできました。この中から、将来の医療従事者が誕生すれば、こんな嬉しいことはありません。

今回、好評のうちに無事終了した『夏休み病院見学会』ですが、今後も、パワーアップして継続したいと考えています。



豚肉とりんごと柿の炒め物



- 実りの秋を迎え、果物がいろいろ出回っています。果物は、ビタミン、ミネラル等の重要な供給源であり、健康な食生活を送る上で重要です。厚生労働省が推進する健康作り運動「健康日本21」では、健康増進の観点から1日 200g以上の果物を食べることを目標にしています。しかし、果物を食べる量は減少しており、食生活がアンバランスになってきているようです。
- 果物にはタンパク質分解酵素が含まれているものが多く、肉・魚料理と組み合わせることで、消化を助けるとともに、体内の脂質の酸化を防ぎ、余分な脂質の排泄を促す成分も多く含まれているので、脂質の多いメニューの時には、特に果物を食べると良いです。
- 今回の料理は、食べ切れなかったりんご、柿がある時に作ってみてください。

材料 (2人分)

豚薄切り肉: 100g 小松菜: 100g
 りんご: 1/2個 柿: 1/2個
 しょうゆ: 大さじ2 酒: 大さじ2
 塩、こしょう: 少々
 サラダ油: 小さじ2

栄養量 (1人分) エネルギー: 250kcal 食塩: 2.9g

作り方

- ① 豚肉は一口大に切って塩、こしょうしておく
- ② りんごと柿は皮をむいて厚さ1cmぐらいのいちょう切りにする
- ③ 小松菜は3、4cmに切って下ゆでする
- ④ フライパンを熱し、サラダ油入れて①の豚肉を炒めて酒を加える
- ⑤ 豚肉に火が通ったら②のりんごと柿、③の小松菜を加え、しょうゆを回し入れて炒め合わせる

リハビリテーション科

「夏祭り」を開催しました

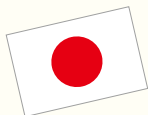
8月19日(土)、リハビリテーション科にて、現在当院でリハビリ中の患者様(入院・外来)を対象に約1時間、理学療法士の指導のもと、運動や、レクリエーションなど、みんなで楽しみながらリハビリをする会を開催しました。この『リハビリ夏祭り』、中心となって指導した理学療法士の名前を取って『藤田フェスティバル』(通称“藤フェス”)は、昨年に続き2回目、今年は30人を超える患者様が参加、椅子に座った状態で、手や足を動かしたり、理学療法士とジャンケンをしたり、歌をうたったりして、あっという間の1時間でした。普段、ベッドの上で過ごすことの多い患者様方も、イベント告知をした時点から楽しみにしてくださり、そこで新たなコミュニケーションが生まれたそうです。当日も元気に体を動かし、大きな声で歌って、笑顔と笑い声の絶えない賑やかな会となりました。



兵庫県医師会より 救急医療業務功労者の 表彰を受けました!



兵庫県医師会では、毎年9月9日の「救急の日」及び救急医療週間の行事として、日常救急医療業務に貢献している行政、消防、コ・メディカルの関係者を表彰しています。今年度は、兵庫県において10名の医療従事者が表彰され、当院より、日夜、救急患者の受け入れを担当している外来の井藤 久美子副主任が「救急医療業務功労者」を受賞しました。



日韓医学交流



テグ
— 大邱保健大学校より 看護学生が研修中です —

- 8月28日より約4か月間の予定で、韓国 大邱保健大学校から看護学生が来院、当院で研修を行っています。訪日の目的は、語学研修と病院実習、そして文化交流を深めるためです。
- 当院と大邱保健大学校とは、一昨年5月に、相互理解と相互発展を目的とした医学交流についての「協定書」を交わし、日韓の学生の現場学習を推進していくことを約束しました。その取り組みの一環とも言える研修は今回で2度目、修了後には、韓国の看護学生が日本の病院で行った実習が大学の単位として認められるという、日本、韓国両国における画期的な仕組みです。
- 2年前、当院で研修を受けた学生3人の内1人は、超難関と言われる日本語能力試験1級に合格し、日本の看護師免許を取得され、現在、東京の病院でお仕事されています。日本語の習得は難しいけれど、金さん、頑張り！

キム ヨンジン 金泳珍さんインタビュー

※ ほぼ、本人の表記のまま掲載



① 看護師を志した理由を教えてください。

2年間 看護助手として病院で働いていた時、アルコール性糖尿で入院した患者さんがいました。黄疸がひどかったのに、回復して退院する姿を見た時、とても嬉しかった。看護師になって患者さんの役に立ちたいと思い、看護師を目指しています。

② 留学先に日本を選んだのは何故ですか。

以前から日本のドラマを見ながら、親切的日本人や、日本の街や、建築物に魅力を感じ、いつも日本を考えていた時、先生が推薦してくださって学校の global project に参加することになりました。

③ 来日して約1カ月ですが、日本の生活、日本語には、慣れましたか。

私一人ですから、生活には早くなれたと思います。日本語を耳からだけで身につけたので、話す・読む・書くことが大変です。今、日本語の勉強を頑張っていますが、ある部分にだけ焦点を合わせて勉強するのではなく、書く・聞く・話す・読むすべての部分を教えてもらっていて大いに役立っています。

④ 日本と韓国で、看護について、大きな違いは何ですか。

韓国は 病棟に看護師しかいないし、入退院の手続きや、栄養、看護を看護師が全て担当しますが、日本はそれぞれの役割が細分化されていて、もっと看護の仕事に集中でき、お互いに協力する体系が良いシステムだと思います。

⑤ 日本で、どんな看護師になりたいですか。

患者さんとラポールを持つ看護師になりたいです。看護業務も重要だが、患者さんの言葉に耳を傾けながら、頼りになる看護師になりたいです。

編集後記

10月に入り、朝夕の冷え込みも厳しくなり、漸く秋らしくなってきました。そろそろインフルエンザの流行が始まる季節です。私も、昨年末 初めてインフルエンザに罹患し、楽しいイベントがいくつもキャンセルに…。今年は、早目に予防接種をし、流行シーズンに備えたいと思っています。ワクチンは、効果が出現するまでに2週間程度かかるので、最も流行のピークを迎える1月上旬から3月下旬に備えて12月中旬までに接種をすることが望ましいと言われています。当院でもワクチン接種を実施しています。また、10月のいきいきサロンで「インフルエンザについて」のお話をさせて頂く予定です。(文書課 松井 未佳)

認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 臨床研修指定(神戸大協力型)
- 日本医療薬学会研修施設
- 薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

交通のご案内

神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分
神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑩⑫
「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

